

本時の目標

「再びじゅうをおろしてしまいました。」という情景描写に着目して読むことをとおして、「敵」という言葉を根拠に、残雪に対する敵がい心が残雪に味方する心に変化していることを、想像することができる。

学習内容	教師の指導援助（・） 評価規準（＊）
<p>1、課題の確認</p> <p>貫く課題 大造じいさんになって気持ちの変化が残雪に</p> <p>本時の課題 伝わるような手紙を書こう。</p> <p>残雪に対する大造じいさんの気持ちの変化を読みとろう</p> <p>2、音読しながら気持ちの分かる言葉を確認していく。</p> <p>3、気持ちの分かる言葉を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くちびるを静かにぬらしました。 ・「どうしたことだ」 	<p>・前時を振り返って待ちに待った残雪との戦いであることを思い出させる。</p> <p>・自然描写、情景描写、行動描写から読み取れることを、価値づける。</p>
<p>どうして大造じいさんは再びじゅうを下ろしてしまったのだろう。</p> <p>4、課題に向かうための読み取り方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの読み取り方を思い出し行動描写だけでなく情景描写、自然描写からも大造じいさんの気持ちを読み取ることができたことを確認する。 <p>5、課題について一人読みをする。ノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救わなければならぬ仲間の姿があるだけでした。 ・敵にぶつかっていきました。 <p>6、全体交流をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救わなければならない仲間の姿があるだけでしたというところから残雪の仲間思いな姿に感動した。 ・いきなり敵にぶつかっていきました・・・なぐりつけましたというところから、仲間を助けようとする姿に感動した。 →感動だけが理由だと読み取っている。 ・「敵」という表現から大造じいさんが残雪に味方していることに気付く。 ・前の場面の「残雪め」「戦闘開始だ」という言葉とつなげて考えると、憎らしいと思っていた残雪に対する気持ちが、応援する気持ちに変化したことが分かる。 ・「残雪の目には、人間もハヤブサありませんでした・・・」という自分のことより仲間を必死で助けようとする残雪の姿を見て心を打たれ、憎らしいと思っていた残雪を味方する気持ちに変化していったのだと思う。 <p>7、課題についてまとめる</p>	<p>チャンスなのになぜ、じゅうをおろしたのか問いながら本時の課題を提示する。</p> <p>・Cの児童に個別指導をする。 「救わなければ・・・」「いきなり敵に・・・」という文章に着目させる</p> <p>〔話型〕・・・というところら_____と いうことが分かります。</p> <p>深める手だて 感動だけだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「敵」という言葉に着目させる。どうして大造じいさんがハヤブサのことを敵と言っているのか。 ・立場が変化していることに気付くことによって読み取りが深まることを価値づける。 <p>〔話型〕前の場面の、・・・という言葉とつなげると、_____という気持ちに変化したことが分かります。</p> <p>・「前の場面とつなげる読み方」や言葉に着目して想像を広げる読み方を価値づける。</p>
<p>ABC「残雪め」という言葉と「敵」という言葉をつなげると気持ちが変化したことが分かります。</p> <p>今まで残雪に対して憎らしい、なんとしても勝ちたいと思っていたけれど、</p> <p>A 残雪が仲間を助けようと必死で自分よりもはるかに強いハヤブサにぶつかっていく姿をみて</p> <p>ABC残雪を応援する気持ちに変化したと分かりました。</p>	<p>＊ B, C 前の場面とつなげて大造じいさんの気持ちの変化を読みとっている。</p> <p>＊ A なぜ、変化したか読み取り想像している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・描写を大切に読み、前の場面とつなげると、登場人物の気持ちの変化を深く読み取ることが出来たことを価値づける。

